

令和7年
2025年

4月4日
金曜日

第11685号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6か月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】 株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



USMEFがメンバー企業2社とFOODEXに出展……P5

注目のヘッドライン

2月の豚肉輸出は、前年同月比 35・0%増で輸出額も増

財務省貿易統計による2月の国産豚肉輸出量は138t(前年同月比35・0%増)と増加した。

…詳細はP2

関西の食肉卸 PFC が昨年 12 月に本社を新工場へ移転、3年後に 200 億円目指す

…詳細はP4

- ▶ 2月の豚肉輸出は、前年同月比35・0%増で輸出額も増…………… P2
- ▶ [畜産物卸売価格・3月]和牛去勢A4価格は前年同期比86円高…………… P2
- ▶ 2月輸出額、牛肉は48億3600万円で前年同月比0・8%増—農水省…………… P2～3
- ▶ [鶏肉調製品輸入2月]計3万3788tで1・6%減…………… P3
- ▶ [ソーセージ輸入2月]計2036tで14・0%増…………… P3
- ▶ 関西の食肉卸 PFC が昨年 12 月に本社を新工場へ移転、3年後に 200 億円目指す…………… P4
- ▶ 杉本本店が黒樺牛について熊本大学と共同研究…………… P4～5
- ▶ USMEFがメンバー企業2社とFOODEXに出展、アメリカンBBQなど訴求。ヤング駐日米国臨時代理大使も来場し、アメリカンステーキを調理…………… P5
- ▶ 2024年度「焼き肉店」の倒産が過去最多50件物価高と人手不足、価格競争などマイナス要因重なる-TSR調査…………… P6
- ▶ [人事異動／4月1日付]農水省畜産局①(総務課・畜産振興課)…………… P6～7
- ▶ スロバキアで口蹄疫が発生、EU域内で3カ国…P7
- ▶ [輸入牛現物相場]焼き材の引き合いははまだ弱い…………… P8
- ▶ [ブロイラー市中現物相場]米国産BIL一段高、産地鳥フルも影響…………… P8
- ▶ [資料]畜産物卸売価格の推移…………… P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]3日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]3日…P11

りんご和牛
信州牛
登録商標 第1394040号

信州プレミアム牛肉
登録商標 第5282895号 第5282894号

信州牛生産販売協議会

国産牛豚内臓肉、チルドビーフ、チルドポーク卸売

健康と食生活を演出する
ビセラル株式会社

〒123-0865 東京都足立区新田 2-8-12
営業一課 / ☎(03)3919-2929 FAX(03)3919-2930
総務 / ☎(03)3919-2980 FAX(03)3919-2941

<http://www.visceral.co.jp>

2月の豚肉輸出は、前年同月比35・0%増で輸出額も増

財務省貿易統計による2月の国産豚肉輸出量は138t(前年同月比35・0%増)と増加した。前月比でも63・1%増加した。輸出先国は合計4カ国・地域で、国別にみると香港が最も多く、合計94t(71・8%増)。次いでシンガポール、タイ、マカオとなった。輸出額は合計1億9492万円(52・9%増)となっ

た。キロ当たり輸出単価は1417円。

一方、鶏肉・鶏くず肉などは、合計153t(58・9%減)。輸出先では香港が最も多く80t、次いでベトナムが50tで、香港への輸出分のうちモモ肉、ムネ肉は17t(23・1%減)となった。キロ当たり輸出単価は324円。

豚肉輸出の表

単位：キロ

	香港		ベトナム	シンガポール	マカオ	タイ	その他国	合計
	冷蔵	冷凍	冷凍	冷凍	冷凍	冷凍		
2024年5月	1,684	55,203		17,418	16,120	3,646		94,071
6月	1,328	73,301		30,669		2,061	104	107,463
7月	1,181	63,653		31,372	2,021	2,337		100,564
8月	985	65,468	155	19,695	4,620	4,568		95,491
9月	2,455	60,136		12,138	5,295	872	1,829	82,725
10月	919	95,797	134	24,291	670			121,811
11月	762	92,224	138	13,372		201	113	106,810
12月	3,452	121,446		39,170	2,816	401	214	167,499
2025年1月	824	72,063		10,656	462	307		84,312
2月	2,257	92,099		35,337	2,802	5,050		137,545
前年同月比	223.2%	170.9%	-	86.9%	48.6%	-	0.0%	135.0%
2024年計	17,974	871,194	427	351,461	37,311	21,471	3,115	1,300,698
前年同期比	94.3%	138.5%	-	86.6%	56.6%	213.6%	0.0%	122.2%

【畜産物卸売価格・3月】和牛去勢A4価格は前年同期比86円高

農水省食肉鶏卵課がまとめた3月の畜産物卸売価格の推移(9面参照)によると、豚の全国と畜頭数(速報値)は134万2800頭(前年同月比2・0%減)となった。豚肉「極上」「上」の価格は東京が615円(63円高)、大阪が612円(27円高)。成牛のと畜頭数は8万6290頭(3・7%減)となり、東京では和牛去勢A4価格が2265円(86円高)、交雑牛B3が1502円(44円安)となった。

[豚] 全国の1日あたりの平均と畜頭数は、上旬が5万6514頭(1・1%増)、中旬が6万9343頭(27・3%増)、下旬が6万5971頭(22・5%増)。東京の

価格は上旬が613円(43円高)、中旬が621円(69円高)、下旬が612円(75円高)で、大阪は上旬が570円(14円高)、中旬が661円(50円高)、下旬が629円(48円高)となった。

[牛] 全国の1日あたりの平均と畜頭数は、上旬が3398頭(11・8%減)、中旬が4554頭(25・2%増)、下旬が3890頭(5・2%減)。東京の和牛去勢A4価格は上旬が2328円(66円高)、中旬が2253円(108円高)、下旬が2203円(64円高)となり、交雑牛去勢B3価格は上旬が1512円(70円安)、中旬が1490円(51円安)、下旬が1512円(6円安)となった。

2月輸出額、牛肉は48億3600万円で前年同月比0・8%増―農水省

農水省はこのほど、2025年1～2月農林水産物・食品の輸出額を公表した。1～2月の累計輸出額は2241億円(前年同期比15・8%増)、2月単月の輸出

額は1287億円(前年同月比20・2%増)となった。

2月単月の輸出額を品目別にみると、牛肉が48億3600万円(0・8%増)、豚肉が2億5300万円(47・

9%増)、鶏肉が1億1500万円(32・0%減)となった。このうち、牛肉に関しては、台湾向けが堅調に推

移。なお、牛肉の1~2月の累計額は90億4300万円(0・05%増)で前年から微増となっている。

【鶏肉調製品輸入2月】計3万3788 tで1・6%減

2月の鶏肉調製品の輸入通関実績は、計3万3788 t(前年同月比1・6%減)と前年を下回った。前月からも4840 t減少した。国別ではタイが2万

2713 t(0・3%減)と減少。中国も1万522 t(4・9%減)と減少した。そのほか韓国が27 t(61・8%減)、ブラジルが19 t(1・4%減)となった。

鶏肉調製品輸入の推移

単位：トン、()内は前年比%

	中国	タイ	ブラジル	韓国	米国	フィリピン	合計
2022年計	192,373 (109.3)	326,751 (109.3)	1,925 (110.6)	1,028 (93.3)	117 (55.8)	33 (71.4)	525,762 (109.4)
2023年計	173,673 (90.3)	297,810 (91.1)	558 (29.0)	1,201 (116.8)	100 (85.5)	0 (-)	477,983 (90.9)
2024年計	187,156 (107.8)	307,850 (103.4)	490 (87.8)	1,081 (90.0)	57 (57.2)	- (-)	503,188 (105.3)
2024年1月	13,238 (110.4)	21,717 (99.7)	76 (66.7)	94 (131.7)	- (-)	- (-)	35,688 (104.1)
2月	11,064 (120.0)	22,790 (101.6)	19 (26.0)	72 (63.0)	- (-)	- (-)	34,339 (107.0)
3月	13,221 (88.9)	24,460 (96.5)	19 (100.0)	57 (118.7)	14 (-)	- (-)	38,329 (94.5)
4月	16,788 (114.1)	27,086 (109.6)	38 (100.0)	150 (385.2)	0 (-)	- (-)	44,648 (111.9)
5月	14,034 (113.5)	26,117 (115.2)	38 (99.6)	65 (206.2)	- (-)	- (-)	40,776 (115.0)
6月	15,546 (100.1)	26,467 (111.2)	19 (100.0)	23 (52.2)	14 (-)	- (-)	42,605 (107.2)
7月	19,023 (127.4)	27,823 (116.0)	94 (123.7)	33 (116.4)	- (-)	- (-)	47,452 (120.2)
8月	14,464 (99.9)	24,641 (96.7)	38 (100.0)	60 (165.2)	- (-)	- (-)	39,797 (98.6)
9月	16,795 (112.3)	22,519 (88.9)	56 (892.6)	65 (82.7)	14 (-)	- (-)	39,880 (97.7)
10月	17,078 (114.2)	29,949 (118.2)	76 (-)	135 (170.6)	- (-)	- (-)	47,902 (117.4)
11月	18,464 (117.7)	27,000 (96.5)	- (-)	119 (57.3)	14 (-)	- (-)	46,192 (104.1)
12月	17,440 (105.6)	27,278 (101.2)	19 (13.6)	209 (205.5)	- (-)	- (-)	45,580 (102.9)
2025年1月	13,978 (84.6)	23,775 (88.2)	38 (27.3)	109 (107.2)	- (-)	- (-)	38,628 (87.2)
2月	10,522 (95.1)	22,713 (99.7)	19 (98.6)	27 (38.2)	- (-)	- (-)	33,788 (98.4)

【ソーセージ輸入2月】計2036 tで14・0%増

2月のソーセージ輸入通関実績は計2036 t(前年同月比14・0%増)で増加となり、前月比では46 t増となった。国別ではブラジルが643 t(97・7%増)、

デンマークが126 t(112・5%増)と前年を上回ったが、タイは488 t(12・1%減)、米国は381 t(10・0%減)、中国は296 t(16・8%減)で減少となった。

ソーセージ輸入量の推移

単位：トン、カッコ内前年比%

	中国	タイ	米国	ブラジル	デンマーク	合計
2022年計	5,610 (91.7)	7,066 (106.9)	6,321 (88.3)	6,422 (174.6)	1,347 (114.3)	28,444 (106.2)
2023年計	5,104 (91.0)	6,721 (95.1)	6,470 (102.4)	4,544 (70.8)	1,230 (91.3)	25,580 (89.9)
2024年計	5,162 (101.1)	5,975 (88.9)	6,637 (102.6)	5,730 (126.1)	1,197 (97.3)	26,196 (102.4)
2024年2月	356 (106.3)	555 (95.5)	423 (105.5)	325 (96.2)	59 (-)	1,786 (100.3)
3月	349 (100.3)	506 (79.9)	517 (142.8)	407 (132.1)	76 (140.7)	1,986 (109.7)
4月	414 (80.4)	516 (102.6)	776 (150.4)	517 (129.3)	155 (72.1)	2,539 (110.5)
5月	464 (132.2)	502 (132.8)	647 (143.8)	349 (94.3)	134 (108.1)	2,192 (125.2)
6月	401 (96.9)	490 (76.8)	632 (102.9)	516 (113.9)	72 (64.9)	2,232 (93.0)
7月	439 (108.7)	577 (91.0)	619 (106.4)	432 (84.9)	160 (118.5)	2,404 (101.2)
8月	474 (92.8)	451 (89.5)	493 (60.8)	629 (147.7)	133 (102.3)	2,351 (92.4)
9月	468 (100.9)	499 (88.0)	450 (88.8)	516 (145.4)	83 (180.4)	2,104 (101.7)
10月	400 (75.2)	634 (110.5)	490 (88.9)	692 (163.6)	37 (63.8)	2,384 (106.8)
11月	491 (130.2)	400 (71.7)	570 (113.1)	663 (235.9)	101 (69.7)	2,325 (114.8)
12月	567 (115.7)	396 (61.1)	677 (104.6)	383 (123.2)	166 (190.8)	2,343 (102.3)
2025年1月	576 (169.9)	357 (79.7)	389 (113.7)	422 (140.2)	112 (533.3)	1,990 (128.3)
2月	296 (83.2)	488 (87.9)	381 (90.0)	643 (197.7)	126 (212.5)	2,036 (114.0)

関西の食肉卸 PFC が昨年 12 月に本社を新工場へ移転 3年後に 200 億円目指す

関西圏に展開する食肉卸(株)PFC(関口孝行社長)は昨年12月19日、大阪市住之江区泉2丁目1-80に新工場を竣工するとともに、同工場併設の事業所に本社移転を行った。

PFCは2022年12月に大阪市西成区に北津守工場を建設し、本社を移転したばかり。「移転当初からすでに手狭になってきていた」と、事業成長が著しかったことで、そこからわずか2年で手狭になったため、今回、2棟目の工場建設・本社移転に至ったもの。

同社は09年に創業した若い企業だが、豊富な国産内臓肉の仕入ルートと焼き肉店卸に特化した取り組みで急成長を遂げている。24年度のグループ連結年商は116億円で、3年後には200億円を目指す。

新本社は、食肉卸会社の営業跡地を活用したもので、およそ10億円の費用をかけて全面改装を行った。土地面積が3915㎡。建物面積が2階建てで計3692㎡。収容能力は北津守工場のおよそ1.5倍。冷蔵・冷凍設備はすべて入れ替え、スライサーや真空包装機などの機械も刷新し、床、壁なども新しくした。

同社は大阪府内のほか、兵庫県、京都府へのルート販売を展開。新本社工場は高速道路が近いと、大阪市外エリアを担当しており、北津守工場は大阪市内を担当。同社の営業エリアとしては、とくに大阪の難波・心斎橋・梅田・鶴橋・天王寺エリアが多い。

同社の特長は、少量でも毎日、納品を行っているため、必要な分だけを仕入れることができ、高鮮度の内臓肉をそろえることができること。また細かな顧客の要望に応じており、スライスや希少部位の発注も可能。取引先は現在1500社にも及ぶが、1500社それぞれのスペックに合わせて納品する。



福利厚生が充実した企業でもあり、無料食堂を完備するほか、定期的にマッサージが受けられたり、「家族焼肉制度」により、会社負担で、取引先店舗で営業スタッフが家族を連れて食事をする事ができる。

昨年あたりからは毎月5人ほどの中途社員を雇用するなど、スタッフが急増。新卒社員を昨年は7人、この4月には8人採用している。今回の新工場が稼働限界となることも遠くないとみている。5月には東京進出が決まっており、事業本部の設置を急いでいる。

杉本本店が黒樺牛について熊本大学と共同研究

和牛生産大手の杉本本店(本社=熊本県、杉本光士郎社長)はこのほど、自社ブランド「黒樺牛」の優位性について熊本大学大学院生命科学研究部の永芳友特任助教と共同研究を行ったと発表した。

同研究は肥後銀行が産学連携の下、地域企業の技術革新を支援する共同研究プログラムの一環。黒樺牛と国産和牛、交雑種の三つの試験区で昨秋から約半年、その血液成分を比較検証したところ「黒樺

牛」の細胞内にはうまみ成分の含有量を示すイノシン酸や肉牛の健康状態の良さを表す特有の代謝産物(修飾ヌクレオシド)が国産和牛と比べ最大で約4倍も多く含まれていることが明らかになったという。

同社では牛肉の味に影響を及ぼす飼料にこだわり、肉牛にはステージごとに最適な独自飼料を与える

ほか、飼養管理においては肉牛の「健康第一」を農場理念に掲げ、獣医師らスタッフの手で丁寧に牛舎消毒や早期治療などの疾病予防に力を入れている。

今回の研究成果を基に、同社では「修飾ヌクレオシドに関する研究を継続的に進め、黒樺牛のブランド価値の向上を図っていく」としている。

USMEFがメンバー企業2社とFOODEXに出展、アメリカンBBQなど訴求 ヤング駐日米国臨時代理大使も来場し、アメリカンステーキを調理

米国食肉輸出連合会(USMEF)はこのほど、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された「FOODEX JAPAN 2025」にメンバー企業2社と共に出席。USMEFブースでは、アメリカンビーフ・ポークの需要拡大に向けた2025年の活動方針と販促提案を紹介した。USMEFでは今年、アメリカンBBQの提案に注力。今回の試食では、アメリカンビーフは「ブリスケット(アメリカンBBQ風)」、ポークでは「ボストンバットバーガー(BBB)」などを提供したほか、各種パンフレット・ガイドブックなども配布した。また、パッカーブースにはSmithfield、Porkoy productsの2社が共同出展した。

加藤悟司ジャパンディレクター(上写真右)は「さまざまな要因により食肉の価格が上昇している中、これまであまり使用されてこなかった部位やメニューを提案していくことで、価格競争にあまり影響されないところで、アメリカンミートを訴求していきたいと考えている」と述べ、BBBについては「ボストンバットをこうした新しい形で提案することで付加価値を高めることができる。先日のスーパーマーケットトレードショーで紹介したところ、非常にお客さまの反応も良く、今回急ぎよりフレットを作成して配布した。実際に販売したいという方も多く、飲食店などのメニューに導入したいという声もいただいている」と説明。さらにブリスケットについても「日本ではあまりなじみがないが、アメリカンバーベキューといえばブリスケットとい



えるほど、人気がある部位。こうした本場米国のバーベキュー文化を日本で紹介していくことで、改めてアメリカンミートの需要を拡大させていきたい」とした。

また、会期中にはジョセフ・M・ヤング駐日米国臨時代理大使(同左)がUSMEFブースを訪問。加藤ジャパンディレクターとあいさつを交わした後、キッチンで自らアメリカンビーフのステーキを焼き上げ(下写真)、試食。来場者にアメリカンミートをPRした。

[訂正] 本紙4月3日付、7面のプレコグループの丸上食品工業の総菜製造販売事業譲受の記事中、プ

レコフーズ社長のお名前に誤りがありました。正しくは高波幸夫社長です。おわびして訂正します。

2024年度「焼き肉店」の倒産が過去最多50件 物価高と人手不足、価格競争などマイナス要因重なる-TSR調査

東京商工リサーチが1日に発表した「焼き肉店」の倒産状況(負債1千万円以上、速報)によると、2024年度(3~4月)は50件(前期比61・2%増)と過去最多を更新した。また、24年(1~12月)の休廃業・解散も28件(100・0%増)と倍増し、過去最多の22年(16件)を大幅に上回った。

焼き肉店は、20年のコロナ禍では、客足が途絶えた他の飲食店をしり目に、高い換気能力などが評価され人気を博した。さらに、資金繰り支援もあり22年度まで倒産は小康状態が続いた。しかし、大手レストランや居酒屋チェーンなどが「焼き肉店」に参入。また、円安の進行で輸入牛肉の価格高騰や光熱費の上

昇、人手不足などが重なり、24年度は08年度以降で最多を記録した。「焼き肉店」は外国人旅行客にも人気が高いが、厳しい環境と熾烈な競争で、体力の乏しい小規模店の倒産が増えている。特に、大衆価格を前面に出していた焼き肉店は、厳しくなっている。TSRでは「仕入価格の上昇を販売価格に転嫁すると客足を直撃する。値上げが続くと、回転率が低下し業績悪化リスクも避けられない。高級店も交際費にシビアな企業が増え、高級食材を使用した価格設定は難しくなっている。長年守ってきた肉質と味で勝負するか、付随的な商品を開拓して総合価格で勝負するのか、生き残り策の模索が始まっている」と分析している。

【人事異動／4月1日付】農水省畜産局①(総務課・畜産振興課)

総務課企画官兼動物医薬品検査所会計課付(動物医薬品検査所会計課会計係長)宮本裕香利▷総務課畜産専門官(独農林水産消費安全技術センター総務部総務専門官)棟方篤▷総務課デジタル実装専門官(畜産局総務課業務改革推進専門官)山本将平▷総務課デジタル実装専門職(畜産局総務課業務改革推進専門職)河田貴裕▷総務課付(畜産局総務課企画官)高橋誉大▷総務課総括班法令係長(畜産局牛乳乳製品課総務班総括係長)表涼介▷総務課(新規採用)武田直哉▷総務課課長補佐・総務班担当(大臣官房広報評価課課長補佐・デジタル人材管理班担当)町田祐一▷総務課(動物検疫所成田支所庶務課)塚本僚▷総務課(畜産局企画課)東良千聖▷総務課企画官兼総務課会計班会計係長(動物検疫所中部空港支所庶務課長兼動物検疫所総務部会計課付)宮舘篤史

総務課会計班予算第1係長(畜産局牛乳乳製品課総務班庶務係長)佐藤美彩子▷総務課会計班予算第2係長(大臣官房予算課予算編成第1班予算編成第4係長)豊福祐平▷総務課課長補佐・機構班担当(畜産局企画課畜産専門官兼畜産局総務課付)大川貴之▷総務課機構班調整係長(畜産局畜産振興課個体識別システム活用班事業推進係長)

中溝万里▷総務課課長補佐・調整班担当兼大臣官房地方課付(畜産局畜産振興課課長補佐・家畜改良センター調整班担当)室賀紀彦▷総務課(近畿農政局農村振興部農村計画課)中野怜奈▷総務課会計班調整係長(新規採用)山岸可奈▷総務課(新規採用)杉崎羽紗▷総務課(新規採用)會田有希▷企画課畜産専門官兼畜産振興課付(消費者庁食品表示企画課総括係長)菊田琢磨▷企画課畜産専門官兼畜産振興課付(畜産局畜産振興課アニマルウェルフェア推進班アニマルウェルフェア推進係長)須藤加澄▷企画課行政専門員(再任用)川原祐三▷企画課総務班総括係長(消費・安全局動物衛生課輸入検疫企画班輸入畜産物検疫係長)山下理沙子

企画課企画班企画第1係長(畜産局企画課企画班企画係長)柳田光一▷企画課企画班企画第2係長(畜産局企画課総務班総括係長)大王千聖▷企画課課長補佐・金融税制班担当(関東農政局消費安全部畜水産安全管理課長)加藤哲也▷企画課推進班推進第1係長(独家畜改良センター調査役・十勝牧場担当)丹羽悠斗▷企画課(東北農政局土地改良技術事務所庶務課兼東北農政局総務部総務課)橋本慎太郎▷企画課(畜産局食肉鶏卵課)水野つかさ▷企画課課長補佐・経営支援班担当(畜産局

企画課畜産専門官) 竹本賢一▷企画課経営支援班
経営支援第2係長(消費・安全局畜水産安全管理
課獣医療提供戦略班獣医療振興係長兼消費・安全
局動物衛生課付) 石川日向▷企画課課長補佐・畜
舎基準企画班担当兼畜舎建築基準等制度検討室
付(九州農政局生産部畜産課農政調整官・畜産振
興) 桑原政明

企画課畜舎建築指導班建築調査係長兼畜舎建築
基準等制度検討室付(熊本県農林水産部生産経営
局畜産課参事) 相川亮▷企画課推進班推進第2係長
(新規採用) 網干智美▷企画課(新規採用) 岡弘晟
▷企画課(新規採用) 森ゆうの

畜産振興課(畜産局牛乳乳製品課) 佐藤遙▷畜
産振興課課長補佐・企画班担当(東北農政局生産
部畜産課長) 中村輝実▷畜産振興課環境企画班環

境企画係長(畜産振興課) 奥田歩▷畜産振興課環
境保全班環境計画係長(畜産局企画課推進班推進
第1係長) 車谷泰子▷畜産振興課環境保全班環境
保全係長(畜産振興課) 成毛悠太畜産振興課(任期
付採用) 森川昇治▷畜産振興課課長補佐・家畜改
良センター調整班担当(地方共同法人地方競馬全
国協会企画部次長・企画担当) 西田岳史▷畜産振
興課(獨家畜改良センター企画調整部管理課) 神田
沙織▷畜産振興課兼飼料課(獨家畜改良センター
茨城牧場長野支場種苗検定課) 竹口潤▷畜産振興
課技術第1班飼養技術係長(長崎県農林部畜産課
主任技師) 北嶋光陽▷畜産振興課アニマルウエル
フェア推進班アニマルウエルフェア企画係長兼飼料
課付(畜産局飼料課総務班総括係長) 柴田由希子
▷畜産振興課(採用担当) 滝沢麻里奈

スロバキアで口蹄疫が発生、EU域内で3カ国

スロバキア政府はこのほど、ハンガリーとの国境近
くの3農場で飼養されていた牛から口蹄疫の感染を
確認したと公表した。感染が確認された3農場では、
乳用牛などを約2800頭飼養しており、このうち12頭
から感染が確認された。スロバキアでの口蹄疫発生
は1973年以来となる。

今回感染が確認された3農場は、ハンガリーとの国
境であるドナウ川に隣接し、3月6日に口蹄疫の発生
が確認されたハンガリーの農場から近く、うち1農場
はハンガリーでの口蹄疫発生に伴い設定された半径
10kmの制限区域内に所在している。

さらに、3月25日には新たに1農場で飼養されてい
た牛から口蹄疫の感染が確認された。同農場は20日
に口蹄疫の発生が確認された3農場のうち1農場の
監視区域内に位置している。口蹄疫の発生を受けて
同国では、まん延を防ぐため、口蹄疫に感受性のある
動物の国内での移動禁止措置などがとられた。また、
口蹄疫の感染が確認された農場の周囲には制限区
域が設けられ、発生農場から半径3kmの保護区域と
同10kmの監視区域が設定された。保護区域内の感
受性のある動物は殺処分される。この殺処分に要す
る時間を確保するため、同区域内では口蹄疫ワクチ
ンの接種が行われた。

また、3月25日の4例目の発生を受けて、スロバキア

政府は非常事態宣言を発令し、口蹄疫の感染拡大を
防ぐための措置や影響を受ける生産者などへの支援
を行うと発表した。

日本でも、ハンガリーでの口蹄疫発生に伴い3月
7日付で、スロバキア産の乳製品などの輸入を一時
停止している。また、スロバキア産の生きた偶蹄類動
物、これらの動物の精液等、肉・内臓等、穀物のわ
ら、飼料用の乾草などについては、以前から家畜伝
染病予防法に基づき輸入が禁止されている。

欧州では、2025年1月10日にドイツで37年ぶり
となる口蹄疫の感染が水牛で確認された。同国ではそ
の後の口蹄疫発生は確認されず、3月12日付で封じ
込め区域を除き、ワクチン非接種口蹄疫清浄地域と
しての国際獣疫事務局(WOAH)ステータスは回復
された。なお、確認された口蹄疫ウイルスの血清型は
O型で、2024年にトルコで確認されたものと最も近い
配列であった。EUで2例目の発生は、同年3月6日に
ハンガリーで牛から確認され、口蹄疫ウイルスの血清
型はO型で17、18年にパキスタンで確認されたもの
と最も近い配列であることが判明しているが、感染経
路は現時点で不明となっている。EU域内3例目と4例
目となる今回のスロバキアで発生した口蹄疫ウイル
スの血清型は、3月25日時点では判明していない。(農
畜産業振興機構)

【輸入牛現物相場】 焼き材の引き合いはいまだ弱い

豪州産チルドはカタ系、モモ系などスソ物の引き合いが強く、バラ系はいまだ重い。動いているポイントやトップサイドは逼迫感がある。今年4月に入ってもなお気温の低い日が続いており、焼き材需要の高

まりは感じられない。ショートグレインの相場高と品薄感を受けて、グラスの相場も上昇傾向だ。米国産は相場高の影響もあり、全体的に動きが重い。トランプ大統領の関税政策がさまざまな分野に影響しており、食肉への影響も気になるところだ。

豪州産フローズンはひき材需要を中心に引き合いが強い。例年の引き合い状況や相場高によって、昨年秋以降、スソ物の買い付けが抑制傾向であったが、このしわ寄せがきている。バラについてはチルド同様動いていない。米国産は、相場変動が小さいが、引き合いは弱い。

【輸入牛肉現物相場】

円/キロ

		グラス	ショートグレイン
豪州産	トップサイド	1,350 ~ 1,400	1,350 ~ 1,550
	シックフランク	1,300 ~ 1,350	1,400 ~ 1,450
	アウトサイド	1,300 ~ 1,350	1,350 ~ 1,450
	ポイント	1,250 ~ 1,350	1,350 ~ 1,450
	ナーベル	1,200 ~ 1,250	1,250 ~ 1,400
	ランプ	1,500 ~ 1,600	1,750 ~ 1,900
	クロッド	1,250 ~ 1,350	1,350 ~ 1,450
	チャックロール	1,400 ~ 1,450	1,600 ~ 1,650
	チャックテンダー	1,400 ~ 1,450	1,450 ~ 1,500
	キューブロール	2,700 ~ 2,800	3,500 ~ 3,900
C	ストリップロイン	2,200 ~ 2,300	2,500 ~ 2,600
	テンダーロイン	4,300 ~ 4,500	4,700 ~ 4,800
豪州産	チャック&ブレード	—	—
	ポイント	1,200 ~ 1,350	—
	ナーベル	1,150 ~ 1,250	—
	カウミート	1,000 ~ 1,200	—
F	トップサイド	1,350 ~ 1,350	—
	シックフランク	—	—

		チルド	フローズン
米国産	スクウェアカットチャック	—	—
	ショルダークロッド	1,600 ~ 1,700	1,500 ~ 1,600
	ショートプレート	1,350 ~ 1,400	1,150 ~ 1,250
	ボンレスショートトリブ(チョイス)	5,800 ~ 6,000	—
	ボンインショートトリブ	—	—
	チャックリブ(チョイス)	3,450 ~ 3,510	—
	ストリップロイン(チョイス)	4,000 ~ 4,500	—
	リアアイロール(リップオン)	4,700 ~ 4,800	—
	テンダーロイン	5,000 ~ 6,000	—
	ステーキレディ	—	—
産	チャックアイロール(チョイス)	2,100 ~ 2,230	1,650 ~ 2,000
	同(プライム)	2,350 ~ 2,550	2,000 ~ 2,300

【ブロイラー市中現物相場】 米国産 BIL 一段高、産地鳥フルも影響

◇国産物 生鮮モモは気温の上昇に伴い、鍋物用途などの需要が減少。日経相場は4月1日付から調査対象社数が増えた関係からか一時770円台をつけたが、「体感的にはやや軟調」との声もきかれた。生鮮ムネは涼味商材として需要期に入り、引き合いが強まった。冷凍物はおおむねもちあい。

での需要が堅調なことなどで日本への輸出量が減少し、高値で張り付いている。米国産BIL(ボンインレッグ)は一部産地での高病原性鳥インフルエンザの影響もあり、一段高となった。

◇輸入物 ブラジル産、タイ産、米国産とも自国内

ブロイラー現物相場

国産冷凍物	
モモ正肉(産地凍結)	700中心
ムネ正肉(〃)	400~420
手羽モト(〃)	380中心
手羽サキ(〃)	玉なし
砂キモ(〃)	玉なし
ササミ(〃)	450~550

輸入物	
米国産モモ正肉(240g UP)	460中心
米国産ジャンボレッグ(350g UP)	350中心
米国産B I L	550~570
ブラジル産モモ正肉	450~460
ブラジル産モモ角切り	460~480
ブラジル産皮なしモモ正肉	470中心
ブラジル産グリラー(1000gUP)	510中心
ブラジル産手羽サキ(50g UP)	600中心
タイ産モモ正肉	480~490
タイ産モモ角切り(25~30g)	460~470
米国産モモ串	玉なし

単位：円/キロ

[資料] 畜産物卸売価格の推移

単位：頭数(頭)、価格(円/kg)

	豚肉 極上・上					牛肉			全国と畜 頭数		鶏卵 東京	鶏肉 東京	
	東京		大阪		加重 平均 価格	東京(加重平均価格)			豚	成牛	(M)	もも	むね
	価格	頭数	価格	頭数		和牛 去勢 A 4	交雑 去勢 B 3	乳用種 去勢 B 2					
6年 2月	609	6,192	490	681	597	2,255	1,545	845	1,374,654	83,898	190	710	391
6年 3月	552	6,051	585	501	555	2,179	1,546	877	1,370,665	89,625	211	687	385
上旬	570	1,676	556	135	569	2,262	1,582	891	55,900	3,851	208	692	387
中旬	552	2,141	611	166	556	2,145	1,541	883	54,478	3,636	210	687	385
下旬	537	2,234	581	200	541	2,139	1,518	771	53,867	4,104	213	682	382
7年 2月	634	6,214	580	411	631	2,290	1,529	1,109	1,290,095	82,269	315	772	415
7年 3月	615	6,633	612	344	615	2,265	1,502	1,142	1,342,800	86,290	327	767	411
上旬	613	2,044	570	140	610	2,328	1,512	-	56,514	3,398	320	770	411
中旬	621	2,130	661	78	623	2,253	1,490	1,170	69,343	4,554	330	766	412
下旬	612	2,459	629	126	613	2,203	1,512	1,123	65,971	3,890	330	765	411
1日(土)									2,500	-	-	773	414
2日(日)													
3日(月)	600	303	612	18	601	2,328	1,511	-	65,500	4,740	320	769	410
4日(火)	613	360	532	12	610	2,338	1,483	-	65,900	4,520	320	772	414
5日(水)	641	215	583	31	634	2,315	1,555	-	66,300	4,690	320	-	-
6日(木)	608	434	549	45	602	2,338	1,500	-	66,100	3,970	320	768	409
7日(金)	613	363	-	-	613	2,332	1,501	-	63,800	4,370	320	765	408
8日(土)									-	130	-	770	413
9日(日)									-	10	-	-	-
10日(月)	611	369	579	34	608	2,321	1,527	-	65,500	4,750	320	772	411
11日(火)	622	312	-	-	622	2,312	1,518	-	67,500	4,590	330	772	418
12日(水)	630	210	637	16	630	2,263	1,484	-	67,200	4,780	330	-	-
13日(木)	609	409	684	5	610	2,249	1,461	-	67,700	4,310	330	773	415
14日(金)	617	307	-	-	617	2,235	1,562	-	65,100	4,550	330	768	412
15日(土)												747	408
16日(日)													
17日(月)	622	312	708	21	627	2,224	1,457	1,170	71,900	4,960	330	770	406
18日(火)	626	293	-	-	626	2,199	1,475	-	71,800	4,190	330	767	412
19日(水)	631	287	640	36	632	2,268	1,492	-	74,200	4,500	330	-	-
20日(木)													
21日(金)	628	453	638	20	628	2,169	1,500	1,097	64,500	3,960	330	766	410
22日(土)												773	415
23日(日)													
24日(月)	608	348	702	11	611	2,146	1,410	-	66,800	4,380	330	768	413
25日(火)	616	365	819	4	618	2,190	1,494	-	69,000	4,030	330	773	417
26日(水)	610	204	631	28	613	2,223	1,533	1,140	67,400	3,970	330	-	-
27日(木)	607	450	580	15	606	2,225	1,524	1,152	65,400	3,150	330	765	410
28日(金)	619	289	-	-	619	2,212	1,528	976	63,800	3,540	330	764	414
29日(土)												769	417
30日(日)													
31日(月)	592	350	608	48	594	2,218	1,558	-	64,900	4,200	330	745	395

注1) 当月の価格及び頭数は速報値

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 4月3日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,244	2,375	2,106	-	-
		安値	2,215	2,110	2,054	-	-
		平均	2,507	2,269	2,075	-	-
	67頭	頭数	48	16	3	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
	-頭	頭数	-	-	-	-	-
	去 A	高値	3,286	2,373	2,206	-	-
		安値	1,893	2,161	2,061	-	-
		平均	2,513	2,247	2,155	-	-
	189頭	頭数	121	54	14	-	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	2,150	-	1,765	-	
2頭	頭数	-	1	-	1	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,721	1,531	1,385	
		19頭	頭数	-	4	9	6
	雌 C	平均	-	-	1,496	1,351	
		2頭	頭数	-	-	1	1
	去 B	平均	-	1,701	1,614	1,496	
		28頭	頭数	-	11	13	4
去 C	平均	-	1,568	1,435	1,392		
	6頭	頭数	-	1	1	4	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	428	1,032	-	(競り)	(相対)	
売買	416	1,007	218.0	-	3	71

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,424	2,177	1,515	1,446	-
	B	-	-	1,227	1,188	941
和 去	A	2,385	2,288	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	869	883
	C	-	-	-	873	867
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	1,676	1,617	1,518	1,439	-
	C	-	-	1,427	-	-
交 去	B	1,801	1,723	1,618	1,511	-
	C	-	-	1,470	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	627	703	842	852	810
	安値	608	572	530	410	356
	平均	620	595	568	565	464
	頭数	(4)	(398)	(400)	(123)	(82)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入相対	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	514
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(3)

[大阪食肉卸売市場] 4月3日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,581	2,349	2,156	-	-
(頭数)	(4)	(7)	(3)	(-)	(-)
B	-	-	2,188	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(1)	(-)	(-)
和 去 A	2,707	2,277	-	-	-
(頭数)	(18)	(1)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,797	1,623	1,466	-
C	-	-	1,607	-	-
交雑去 B	-	1,811	1,609	1,500	-
C	-	-	-	1,491	-
豚	-	603	585	518	476

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	4月3日	4月2日	(4月累計)
豚	62,800	62,000	186,100
成牛計	4,110	4,760	13,540
和牛雌	1,060	1,220	3,440
和牛去勢	1,130	1,370	3,870
乳牛雌	790	730	2,330
乳牛去勢	390	450	1,350
交雑雌	410	450	1,260
交雑去	330	530	1,280

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 4月3日

	1,571円	(前日 1,499円)
東京		
	1,562円	(前日 1,571円)
大阪		

[豚・全農建値] 4月3日

上	中	取引頭数	市況
598円	572円	1,175頭	反落

と畜	牛 91頭	豚 49頭	牛概況	急伸
売買	牛 73頭	豚 134頭	豚概況	もちあい

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 4月3日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況	
北海道 [セ]	603 (616)	- (-)	5,667	-	もちあい	
仙台 [中]	522 (530)	477 (467)	332	103	続落	
栃木 [地]	558 (580)	529 (554)	1,453	60	反落	
茨城 [地]	613 (604)	582 (578)	1,087	826	上伸	
群馬 [地]	612 (601)	550 (520)	20,12	242	続伸	
さいたま [中]	594 (589)	570 (571)	176	172	反発	
東京 [中]	595 (623)	568 (581)	1,032	1,007	急反落	
横浜 [中]	606 (605)	580 (576)	660	660	もちあい	
山梨 [地]	611 (625)	561 (599)	213	183	続落	
浜松 [地]	※2026年度の市場再編に伴い上場頭数等が減少、4月1日から当面の間豚競り市場は休止					
名古屋 [中]	563 (586)	543 (543)	894	308	下落	
京都 [中]	624 (-)	574 (-)	67	123	もちあい	
大阪 [中]	603 (583)	585 (545)	49	134	急伸	
神戸 [中]	662 (-)	662 (-)	47	115	-	
岡山 [地]	682 (656)	641 (621)	264	263	-	
広島 [中]	- (608)	- (578)	223	5	-	
福岡 [中]	582 (585)	547 (553)	372	124	弱もちあい	

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 3月27日～4月2日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,571,853 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,090	1,173	1,213	1,164	67,644
うで	745	788	836	791	92,908
ロース	1,068	1,103	1,279	1,134	126,021
ばら	1,188	1,203	1,213	1,204	217,483
もも	771	793	853	795	142,978
ヒレ	1,048	1,133	1,212	1,117	12,523
セット	948	1,032	1,086	1,026	912,296

◇近畿圏 総重量 624,147 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,156	1,284	1,327	1,260	42,784
うで	713	757	794	760	108,900
ロース	1,102	1,218	1,269	1,206	73,401
ばら	1,199	1,234	1,286	1,239	96,941
もも	719	756	806	757	149,490
ヒレ	1,157	1,242	1,296	1,221	8,734
セット	932	1,004	1,095	1,008	143,897

[食鳥正肉日経相場] 4月2日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京(8社) ※休載

	安値	加重平均	高値	販売量(t)
モモ	-	-	-	-
ムネ	-	-	-	-

◇大阪(2社)

	安値	加重平均	高値	販売量(t)
モモ	694	745	1,010	5
ムネ	359	407	570	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 4月1日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,008	611	550	600	650
安値	720	383	290	360	350
平均	779	426	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

◆業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

◆畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

◆国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

◆あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男著
鏡 晃

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

◆知識を豊かにする

食肉用語事典〈新改訂版〉

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

牛枝肉・牛部分肉について、各方面のプロに幅広く取材し、「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

◆ステーションナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

◆大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

◆東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

◆九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。